

固定資産税の課税誤りについて

固定資産税の賦課にあたり、住宅用地の特例が適用されずに、過大に税金を徴収していることを確認しましたのでお知らせいたします。適正であるべき税務行政にあって、多くの皆さまにご迷惑をおかけし、著しく信頼を損なう結果となりましたことを深くお詫び申し上げます。

【経緯】

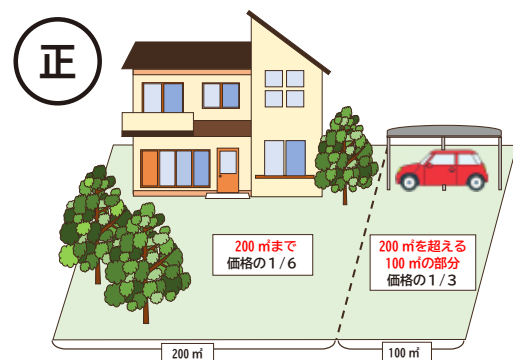
令和6年7月、固定資産に係る土地建物の現況調査において、令和4年に撮影した航空写真と課税台帳の記載内容を突合する確認作業を行ったところ、住宅用地の特例が適用されずに、宅地に係る固定資産税を過大に徴収していたことを確認しました。

【課税誤りの内容】

住宅が建築されている土地は、住宅用地の特例が適用され、固定資産税の課税標準額を200㎡までは6分の1、200㎡を超える部分は3分の1としますが、特例が適用されずに過大に固定資産税を徴収していたものです。

特例の適用にあたっては、新築などの現況調査が完了後、土地区分を住宅用地としてシステムに入力する必要がありますが、入力漏れがあったと考えられます。7月26日（金）時点で、15件（14人）確認しています。

例 専用住宅で、家屋の床面積が100㎡、敷地面積が300㎡で土地の課税標準額が900万円の場合
※住宅用地の範囲：床面積の10倍までを限度とする

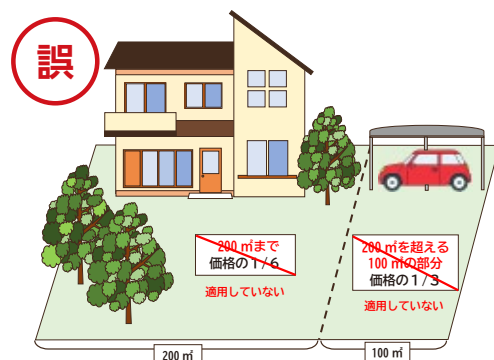


課税標準額

- ①小規模住宅用地
900万円×(200㎡÷300㎡)×**6分の1** = 100万円
- ②一般住宅用地
900万円×(100㎡÷300㎡)×**3分の1** = 100万円

年税額 (①+②)×1.4%=2万8千円

※年税額は課税標準額に1.4%を乗じた額



課税標準額

- ①小規模住宅用地
900万円×(200㎡÷300㎡) = 600万円
- ②一般住宅用地
900万円×(100㎡÷300㎡) = 300万円

年税額 (①+②)×1.4%=12万6千円

【今後の対応】

町内にある全ての住宅用地を調査し、年内を目途に、還付等対象者および還付額等（国民健康保険税を含む）を確定した後、速やかに対象の皆さまに還付などの通知を行います。

課税誤りの原因を調査分析し、再発防止に努めてまいります。

問 税務会計課 TEL 0193-42-8711

くらしの安心だより

記録的短時間大雨情報にご注意ください！

記録的短時間大雨情報
って何かしら？

テレビで聞くけど
よく分からない



雨雲レーダー（実況）

記録的短時間大雨情報
岩手県大槌町付近
1時間に約100mmの猛烈な雨

記録的短時間大雨情報とは…

数年に一度しか発生しないような短時間の大雨を観測したり、解析したときに発表されます。この情報は、その地域にとって土砂災害や浸水害、中小河川の洪水災害の発生につながるような稀にしか観測しない雨量であることを知らせるものです。

大槌町は、1時間あたりの雨量が約100mm以上降った場合に発表します。

雨の強さと降り方

（出典：気象庁）

10ミリ～20ミリ	20ミリ～30ミリ	30ミリ～50ミリ	50ミリ～80ミリ	80ミリ以上
やや強い雨 ザーザーと降る	強い雨 どしゃ降り	激しい雨 バケツをひっくり返したように降る	非常に激しい雨 滝のように降る（ゴーゴーと降り続ける）	猛烈な雨 息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。
低	災害の危険性			高

事前に
「お気に入り登録」
しておくと、
「いざ」という時に
便利です

防災情報

町の防災情報ページ

防災マップや指定避難所などを確認することができます。
<https://www.town.otsuchi.iwate.jp/gyosei/docs/437682.html>



岩手県河川情報システム

河川の水位や降り始めからの総雨量などを確認することができます。
<http://kasen.pref.iwate.jp/iwate/servlet/Gamen30Servlet>



気象庁 キキクル（危険度分布）

災害発生の危険度の高まりを確認することができます。
<https://www.jma/go.jp/bousai/risk/>



問 防災対策課 TEL 0193-42-8781